

(第3種郵便物認可)

# 現場から

「アジアの都市連携」「災害・安全と都市」「環境と都市」「調和ある都市」「持続可能な交通と環境格差のない都市」。

2007年の第1回会議以来、アジアの都市が抱えるさまざまな問題について議論を続けてきたアジア都市ジャーナリスト会議。5回目は「アジアの都市化の問題―住環境と自然環境の改善に向けて」をテーマに1月13

## アジアの都市問題を議論

# スラムから高齢化まで

日、福岡市で開催され、前回に続き司会役を務めた。

今回参加したのはムンバイ、バンコク、ジャカルタ、ホーチミン、ハノイ、上海、釜山、そ



編集委員 国分 健史

して北九州市からの8人。会議ではまず1人15分間ずつ、それぞれの都市で起きている都市化による問題の現状について報告してもらったが、いずれの都市も、貧弱な公共交通↓交通渋滞↓大気汚染・騒音、不

十分なごみ処理・上下水道の不備↓河川汚染↓地下水の過消費↓地盤沈下・道路陥没などの悪循環に苦しんでいた。

ムンバイ、バンコク、ジャカルタからは、問題が集中するスラムの状況も報告された。

一方、上海の記者は、都心の再開発で古い界隈が壊され、コミュニティや隣組が失われている問題を、本紙の友好紙・釜山日報の記者は、人口増と交通渋滞に悩む郊外の新都心と高齢化する旧都心、という都市内格差・不均衡の問題を指摘した。

本紙北九州本社 安部鉄也記

活発な議論が重ねられた第5回アジア都市ジャーナリスト会議＝1月13日、福岡市・天神のアクロス福岡



者は、甚大な公害を克服した経緯からエコタウンを誕生させ、

政策や技術などのノウハウをいかに共有するか―

は、第1回会議からの課題。前回会議ではインターネットの会員制交流サイト「フェイスブック」を使った議論が始まったが、今回は、情報交換をネット上の掲示板を使って行うこととで一致した。

掲示板は、国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部のホームページ(<http://www.fu-kuoka.inhabitor>)に近く開設され

環境ビジネスに乗り出した北九州の現状を報告。会議前日に同市を視察した記者たちからは、「北九州の経験をぜひ共有させて」との声が上がった。

会議の後、博多名物の屋台でも議論は続き、釜山の記者からは「北九州をはじめ公害を克服した日本にも、都市化が生み出す新たな問題があるのでは。そうした問題も議論すべきではなかったか」と指摘された。

確かに、基調報告の中で大阪市立大学の瀬田史彦准教授が指摘したように、日本で今問題となっている高齢化と人口減少は、アジアの国々でも間近に迫った問題だ。それも、次々に顕在化する都市化の問題を長い時間をかけて乗り越えてきた日本と違い、アジアでは「一気に問題化するとみられている。スラムの問題から高齢化・人口減まで、ネット上での議論の盛り上がりも期待したい。

論

考



# 都市膨張 環境に負荷



パナソニックアリーナは、都市膨張の象徴

万里新氏(上海日経)は新しいビルやマンションが立ち並んだ。伝統的な家族は崩壊し、近みを取り戻され代わり



上海日経副総編主任 万里新氏



釜山日経記者 釜山日記記者 釜山日記記者



西日本新聞社北九州本社 安部鉄也記者



国土交通省国土計画局 総務課長 島谷亨氏



国産ハビタット福岡本部長 野田順康氏

## 失われゆく地域の結束力

11月には高層ビルで火災が起きた。60人近くが亡くなった。都市化に対する住民の非力さを示した瞬間でもあった。都市化は、人々の結束を弱め、地域の結束力を失った。都市化は、人々の結束を弱め、地域の結束力を失った。都市化は、人々の結束を弱め、地域の結束力を失った。

## 公害解決しモデル都市に

公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。公害解決しモデル都市に。

## ネットメディア活用も有益

ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。ネットメディア活用も有益。

この20年で、アジアを取り巻く状況は変わった。グローバル化が進み、経済成長が顕著になった。この20年で、アジアを取り巻く状況は変わった。グローバル化が進み、経済成長が顕著になった。この20年で、アジアを取り巻く状況は変わった。グローバル化が進み、経済成長が顕著になった。

【基調報告】 大阪市立大学大学院・瀬田 史彦准教授



せた・ふみひこ 1972年生まれ。東京大学大学院博士課程中退後、東京先端科学技術研究センター一助手を経て、2005年4月から現職。専門は都市計画・地域開発。アジアを中心に20カ国を訪ね、現地の都市問題を調査、研究している。

## 日本を参考に、認識の共有を

日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。日本を参考に、認識の共有を。

### 第5回アジア都市ジャーナリスト会議